

2022-23 事案に関する報告書
(令和 7 年 5 月 11 日)

EWRS 総合情報共有局 (EGIC)

【 目 次 】

1. はじめに	3.
2. 事案の概要	3.
2－1. 発生期間	3.
2－2. 主な関与人物	3.
2－3. 問題行為（団体内）	3.
2－4. 問題行為（団体外）	4.
3. 被害の詳細	5.
3－1. 団体内部	5.
3－2. 団体外部	5.
4. 詳細経緯と団体の行動	5.
4－1. 問題の発覚と初動	5.
4－2. 処分とその限界	6.
4－3. 再発の連鎖	6.
5. 原因分析	6.
5－1. 組織的課題	6.
5－2. 文化的・心理的課題	6.
6. 対応と改善策	7.
6－1. 対応	7.
6－2. 再発防止策	7.
7. 教訓と今後の方向性	7.
8. 総括	8.
9. 結びに	8.

プライバシー保護のため、職員名等は公表いたしません。
また、情報漏洩防止のため、一部箇所では表現を変更しています。

1. はじめに

2025 年 5 月 11 日をもって、当団体において発生した 2022-23 事案の発生から 2 年が経過しました。この節目に際し、事案の経緯、背景、影響、対応、ならびに再発防止策を包括的にまとめ、将来への教訓とすることを目的として本報告書を作成いたします。

本事案によりご迷惑とご不安をおかけした全ての関係者の皆様に、改めて深くお詫び申し上げます。私たちは、再発防止に向けて今後も全力で取り組んでまいります。

2. 事案の概要

2-1. 発生期間

- 2022 年 9 月 19 日 ～ 11 月 6 日
- 2023 年 5 月 11 日 ～ 6 月 12 日
- 2023 年 7 月 14 日 ～ 8 月 2 日
- 2023 年 8 月 4 日 ～ 8 月 20 日
- 2023 年 9 月 16 日 ～ 9 月 25 日
- 2023 年 10 月 7 日 ～ 10 月 31 日
- 2024 年 1 月 2 日、1 月 29 日 ～ 2 月 1 日

2-2. 主な関与人物

- 当時幹部職員であった 1 名（懲戒処分済）
- 他団体（提携外）に所属する複数名（個人情報流出先を含む）

2-3. 問題行為（団体内）

- セクシャルハラスメント（一対一環境、公共空間）

当該事案におけるセクシャルハラスメントは一対一環境で発生したもののみをこれまで対象にしていたが、団体職員全員が確認できる場での性的発言に近い発言をセクシャルハラスメントに追加認定した。

一対一環境は具体的には Discord における DM（ダイレクトメッセージ）であり、性質上、当該職員と被害者が一対一で話す環境となっていた。未成年職員に対する性的な発言を行ったものである。

- 強要・脅迫・パワーハラスメント（提携団体含む）

当時の提携団体に所属していた開発・技術部門の職員に対し、開発意欲を削ぐような発言を行い、該当職員はその後退職したと報告を受けた。

団体内でも、逆らえないために活動に支障が出ている例を確認しており、報告を受けていたために調査予定であった。

- 人格否定、表現の自由を奪う発言

権利を濫用する行為や、人格否定に近い発言も確認されている。2023 年 5 月、団体サーバーにおいて「当該人物の発言に対する注意」を無断で削除するなどの行為を行ったことが複数証言で分かっている。

- アカウント情報への不正アクセス、端末の初期化

アカウント情報へ継続的に不正アクセスしたほか、実際に団体管理下のアカウントに不正にアクセスし、現在も未返却のアカウントが存在する。

職員の位置情報を不正に入手し、職員の携帯電話の情報をすべて初期化した。その際には「問題を解決しろ」「金を払え」「表示を消すな」「表示を消したら初期化する」などといった脅迫を行い、実際に当該職員の携帯電話のデータはすべて初期化され、復旧は困難となった。

- 個人情報の流出、位置情報の特定

不正アクセスしたアカウントからの位置情報特定、また個人情報の流出が確認された。複数人の証言により、他団体職員並びに団体長がその情報を所持したことも確認している。個人情報については 2024 年 1 月まで所有していたことが発覚した。

- 誹謗中傷、団体ドメインの無断削除、不正請求

自身の管理している「ドメイン・メールアドレス・アカウント」等を無断で削除し、団体で抗議を行ったが応じなかった。

2-4. 問題行為（団体外）

- SpinNow Group 様への迷惑行為

複数回の問い合わせ行為を行い、業務への支障が生じる程のものとなっていたと確認した。活動意欲を削ぎ、体調を崩すような脅迫・暴言を繰り返し、団体の運営に支障が生じるほどにまで迷惑行為を繰り返した。

3. 被害の詳細

3-1. 団体内部

- 2度の活動停止（2023年5月12日～6月4日、10月7日～10月9日）
- 端末初期化による業務情報消失、伝達機能の一時喪失
- 複数職員の個人情報・位置情報流出、体調不良

3-2. 団体外部

- SpinNow Group 様：運営停止、体調不良等の影響
- ESC、NBI：活動停止、情報流出、伝達不能、位置情報特定

なお、2024年12月に発生した連続不正アクセス事件との関連性は未確認であるものの、手法に類似点を確認している。

4. 詳細経緯と団体の対応

4-1. 問題の発覚と初動

初期の問題行動は2022年9月ごろから複数の関係者間で共有されていたが、明確な通報体制や監視メカニズムが不十分であったことから、対応が遅れた。2022年10月末には一

部の上層部が問題を認識し、懲戒処分（停職）を指示するに至った。

4-2. 処分とその限界

当該職員に対しては、停職・業務制限などの懲戒措置が複数回にわたり実施された。しかしながら、以下の要因により、十分な効果を上げることはできなかったと考えられる。

1. 当該職員の一部活動が金銭的に支えられていたため、通報や処分に対しての心理的抵抗感があった。
2. 活動に必要な連絡手段として DM が多用されており、使用の規制が困難だった。
3. 表面上の勤務態度は問題がなく、行動の裏側が可視化されにくかった。

4-3. 再発の連鎖

2023 年中にも複数の問題行為が断続的に発生した。特に、夏期・秋期にかけての一連の行動は、団体外部にまで悪影響を及ぼした。

さらに、2023 年 5 月以降、調査が当団体ならびに各提携団体において 1 か月以上にも及んでいた。また、直接交渉の失敗、第三者を挟む交渉においても認識の差異が大きく、交渉に 1 か月以上時間を要し、対応と交渉で職員が疲弊しており、一部の職員が体調不良を訴えるなど、次々と発生する問題行為に対応するまでに時間がかかっていた。

5. 原因分析

5-1. 組織的課題

通報制度・内部監査体制の未整備、上層部間の意思疎通不足、DM 等非公式チャネルへの依存、金銭的依存関係による心理的抑制などが挙げられる。

5-2. 文化的・心理的課題

「支えてもらっているから言い出せない」という心理的圧力、「問題は見ても見ぬふり」になる雰囲気、一部職員に対する過度の信頼と処分への忌避感といったものが原因として分析

された。

6. 対応と再発防止策

6-1. 対応

- 当該職員の懲戒解雇処分（2023 年 5 月）
- 2023 年 6 月以降：職員全員への面談・精神的フォロー
- 全アカウントのパスワード変更とアクセス制限
- 一部アカウントは未返却であり、今後も警戒を継続

6-2. 再発防止策

- ハラスメント・迷惑行為の禁止を職員規則に明記
- 通報制度とハラスメント対応委員会の設置
- DM の使用ガイドライン制定と使用制限
- 個人情報へのアクセス制限（ごく一部の上層部に限定）
- 情報セキュリティ・ハラスメント研修の定期実施
- 金銭的関係の透明化と制限
- 会話記録のバックアップと監査制度の導入
- 職員向けのハラスメント研修、情報モラル研修の義務化

7. 教訓と今後の方向性

本件は、個人の問題行動に起因する一連の事件でありながら、団体としてのチェック体制、通報文化、教育体制の不備が複合的に関与したものであった。

情報と人の安全を守る組織文化の構築、若年層主体の団体における支援・監視体制の強

化、提携団体や関連団体とのリスク情報共有体制の整備といった視点を持ち、今後も改善に努めていく所存である。

また、当該事案の解決に向け、団体運営方針を見直した他、2024 年 1 月 25 日に「2022-23 事案 再発防止宣言」を発表した。

EGIC は、以下の行為を許しません。

職員がこれらを守らなかった場合には必ず、停職/解雇処分を行います。

- ・職員を含むすべての人に対する、同意のない性的な発言、性的な行為等
- ・職員を含むすべての人に対する、誹謗中傷行為
- ・職員を含むすべての人に対する、人権侵害

8. 総括

本事案は、1 名の問題職員による行動がきっかけであったとはいえ、組織としてその行動を見逃し、止められなかったという点において、構造的な責任があると認識しております。

再発を防ぐためには、「制度」「文化」「心理」の 3 軸からの見直しが必要であり、我々はその全てに対して真摯に取り組んでまいります。

9. 結びに

改めまして、当該事案により、多大なるご迷惑とご不安をおかけした全ての関係者の皆様に対し、改めて深くお詫び申し上げます。

2022-23 事案は、情報を扱う団体としてあってはならない事案であり、団体の信用を損なうだけでなく、職員を含め、多大なるご迷惑とご不安をおかけいたしました。

再発防止・信頼回復に向けて不断的努力を続けてまいります。今後とも、何卒ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025 年 5 月 11 日
EWRS 総合情報共有局（EGIC） 会長
Katsu_M.